

# 病院職員、医師、病院の警備員をかたる特殊詐欺被害の連続発生！

## 被害の概要

11月30日、下高井郡内居住のAさん(70歳代・女性)宅に、〇〇病院の医師を名乗る者から「息子さんが喉の手術をして声が変わっている。明日には精密検査する。」などと電話があり、その後、息子を名乗る男から、「病院で電話をしていたら、携帯電話と財布をなくした。」などと電話があった後、病院の警備員を名乗る男から「病院に財布はありましたが、財布の中身や携帯電話はありませんでした。」と電話が続き、さらに息子を名乗る男から「仕事で今日中に950万円が必要だけど、カードがなくて払えない」などと言われ、Aさんは上司の息子を名乗る男に現金100万円を手渡し、被害に遭っています。

11月30日、埴科郡内居住のBさん(70歳代・男性)宅にも、●●病院の医者を名乗る男から「息子さんが救急搬送されてきて、喉の腫瘍が見つかった。2～3割の確率で喉頭がんの可能性がある。」などと電話があり、その後、病院の警備員を名乗る男などから、息子さんがカバンを待合室に置いたまま治療に入ったらしく、カバンから財布と携帯電話がなくなった。」と話があり、息子を名乗る男から「仕事で今日中に700万円必要だけど、会社のキャッシングカードも財布に入っていたので、払えない」などと言われ、Bさんは同僚の息子を名乗る男に現金270万円を手渡し、被害に遭っています。

## 被害防止対策

- 犯人と直接会話をしないよう、常時留守番電話に設定し、メッセージを残した人だけにかかけ直すようにしましょう。
- ナンバーディスプレイ機能を活用し、知らない電話番号からの電話には出ないようにしましょう。
- 息子や孫を名乗る者から電話があった際は、元々知っている電話番号に折り返して、確認をするようにしましょう。
- 病院から電話があった際は、電話があった病院に対し、電話をして事実確認をしましょう。
- 本人以外の代理の人間には、何があったとしてもお金を渡さないようにしましょう。

